

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成26年10月29日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	一之瀬勤委員、小林史夫委員、小林満子委員、小宮山民夫委員、竹村昇吉委員、 竹村尚美委員、田中新平委員、長崎伊登子委員、長崎理恵子委員、中村泉委員、 縷沢剛史委員、藤澤繁美子、堀内朝子委員、堀内辰一委員、松井よし枝委員、 三井秀雄委員、宮下俊哉委員、村田眞理委員、若林正徳委員 【欠席委員】1名
5	市側出席者	高橋センター長、藤沢地域振興課長、山宮市民生活課長兼健康福祉課長 滝澤産業観光課長、依田建設課長、佐藤上下水道課長、柳沢教育事務所長 柳沢真田消防署長、清水上下水道係長、飯島地域政策係長、西澤主査、伊藤主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年11月20日
協 議 事 項 等		
1	開 会 (小林史夫副会長)	
2	<p>会長あいさつ (三井会長)</p> <p>先日、初めて上田市議会の報告会に出席させていただきました。一つだけ質問させていただいた事があります。議員の皆さんの政務活動費について質問しました。示された資料では皆さんの意見を聞く目的の広聴費が0円でありました。議員の皆さんは地元からの話は、いろいろな会合などで聞いていると思います。ところが費用としては使っていないことから質問してみました。今日の協議会の途中で出てきますが、傍陽小学校の子供達が、この場に来て、地域のあり方や将来についてお話をしたいと申し入れがありました。議員のある方に話をしたところ、議員の皆さんも子供たちの話を聞きたいという話がありました。もちろん傍聴人ということになりますので、協議会の中で意見を発言することはできませんけれども、我々が考えているものを実行する段階において、議員の皆さんのご理解を得ないといけないということがあります。そういう点では共通の事になりますので一緒に検討していけたらとの想いで話をさせていただきました。この地域がよくなるためにはいい連携をしながら協力しあって進めていきたいと思っています。</p>	
3	<p>センター長あいさつ (高橋センター長)</p> <p>会議次第にございます通り、このあと盛りだくさんに協議事項が組まれております。私の方からは一点だけご報告させていただきます。真田地域の皆様に、姉妹都市である九度山町との都市交流の参加について募集したところ23名の応募がありました。11月8日、9日に九度山町、高野山へ行ってみますので、ご報告させていただきます。本日はよろしくお願いたします。</p>	
4	協 議 事 項 (三井会長 進行)	
	<p>(1) わがまち魅力アップ応援事業審査 ～事務局から日程等について説明～ 【質疑・意見】 (会長) ご質問ありますか。 ・なし (会長) 今回は2件の審査になります。最初に下原区の自然と歴史を活用した区民交流事業の審査を行います。事務局から説明事項がありましたらお願いします。 ～事務局から自治センター関係課意見調書及び選考ポイントの説明～</p>	

(会長) それではプレゼンテーションを始めます。

～応募プレゼンテーション～

【質疑応答】

(委員) 自己資金がありますが、こちらは自治会費からの資金でしょうか。

(申込者) 自治会から補てんされるものです。

(委員) 事務局へ質問ですが、委託費について、内容が保存棚ということです。こちらは備品購入費ということにあたるのか参考までにお伺いしたい。

(事務局) 大工等に依頼して実施するということでしたので、私どもは委託費ということで認定させていただきます。備品となると製品を購入することが主な内容となります。

(委員) 質問ではありませんが、私は横沢自治会でこのような事業は大変うらやましく思っているところです。昨年、真田自治会でもわがまち魅力アップ事業を使って、素晴らしい本を作られ、当自治会へも頂きました。先輩方の資料を参考にしてもらいながらいいものを作っていただきたいと思います。できれば各自治会へも1冊ずつ配布していただけるとありがたい。

(委員) 真田自治会で作成された本は参考にされていますか。

(申込者) 参考にさせてもらっています。

(会長) 今回作られた本の配布先はどこになるのか。各自治会へは配布されるのか。

(申込者) 自治会員へ配布し、各小学校や中学校、図書館への配布を予定しています。各自治会への配布は考えていなかったが検討していきたいと思う。

(委員) 説明板の設置とありますがその内容はなんですか。

(申込者) 下原自治会には仏像などがたくさんありますので、子供達にもわかるような形で説明書きをつけていきたいと考えています。

(委員) 50万円が計上されているということで、だいたい場所など決まって50万円ということか。50万円とあげるには具体的に場所が決まらないと50万円は出てこないと思う。

(申込者) だいたい決まっているが確定はしていない。これからの話し合いの中で増えてくる可能性はあると思います。

～評価～ 審査調書に記入後回収

(会長) 次に菅平高原ナイター無料事業の審査を実施します。事務局から説明事項がありましたらお願いします。

～事務局から自治センター関係課意見調書及び選考ポイントの説明～

(会長) それではプレゼンテーションを始めます。

～応募プレゼンテーション～

【質疑応答】

(委員) 3月末ということで雪の状況はどうでしょうか。

(申込者) 今年は大雪があったので例年よりかなり多かったが、例年3月末までは十分雪はあります。12月からスノーマシンで雪を作り圧雪し、それが下地となっていますので、雪がなくて危険ということはないです。よほど暖かくなれば別だが、例年は大丈夫です。

(委員) もし雪がなかったらどう対応するのでしょうか。

(申込者) ここ十年ぐらいは3月末に雪がなくてナイターができなかったことはないです。

(委員) 前回の申請に比べて、地元視線が向いてきておりよろしいかと思えます。自分もスキーやる立場として3月末だとシーズンが終わりです。この時期に、親御さんは子供とナイターに行くと、同シーズンにまた来ようという時期ではないと思う。そろそろスキーは終わりという時期です。来年度以降はもう一回行かれる時期であれば、なおいいと思う。

(申込者) 今年ナイターの無料は初めての試みになりますので、今シーズンやって評判がよければ、例えば、子供さんの冬休みの1月4、5、6日に実施するなど、日程も考えながらできればいいと思います。

(委員) ナイターにこだわる理由はなんですか。

(申込者) 昼間でも安価の料金でやっていますが、子供さんだけだと菅平までくる足がないということがあります。そこで親御さんを巻き込んで、仕事が終わってから、子供さんと気軽に来ていただければということで考えています。

(委員)私は、昔、ナイタースキーをやって、段差が見えなくて非常に怖い思いをした経験があります。ゴーグルをしているとわからない。安全性はどうでしょうか。

(申込者)シーズン最後になっているので、昼間はベタ雪になりますが、ナイターの時間は冷え込んでくるので、昼間よりは雪も締まります。圧雪車で整備しますので、危険性は少なくなると思います。日の出ゲレンデは初心者が多いので圧雪車で段差は潰してしまいます。コブは作らない。お客様の滑るところは段差がついているところは少ないと思います。ナイターの照明についても、昔と違ってLEDになりましたので、明るくなり影で危険ということも少なく、ナイターで怪我をしてしまったということも昨年度は1件も聞いてはいません。

(委員)スキー客に対しての全体のファン感謝デーは実施しているのか。

(申込者)いまのところはない。これからリフト会社さんと話し合いがあるものですから、これから考えていきたい。

(委員)そういうことを先に実施すべきと思う。

(申込者)かつてはリフト会社の協力のもとに、例えば、毎月の第三日曜日は子供の日ということで小学生は無料でやっていた。それが感謝デーといえば感謝デーだった。あとは各リフト会社で月に一度、曜日を決めてトン汁の振る舞いをするなどの取り組みはやっています。菅平全体で大々的にというのは、いまのところ至っていないという状況である。

(委員)ぜひそれをやっていただきたいと思う。

(申込者)私も今年度から旅館組合長になりまして、観光協会との会議もこれからあります。11月に観光協会及び旅館組合の総会等もありますので、具体的な形でご返答できるように計画するように致します。

(委員)できれば、補助金を活用するのではなく、そちらのお金で実施してもらいたいという気持ちです。

(委員)自分が参加するのであれば、せっかくスキースクールもやっていただけるということで、3月上旬の昼間や土日でゆっくり滑りたいと感じました。

(申込者)リフト会社も含めて今後関係機関と会議などで協議していき検討事項とさせていただきます。

～評価～ 審査調書に記入後回収

(2) 上田市真田地域上水道事業について(報告)

～佐藤真田上下水道課長より報告～

(会長)質問がありましたらお願いします。

(委員)昨日、地域の人と交流している席で、水の話になりました。水がどう使われるかよくわからないと話がありました。自治会長さんへの説明だけでは不足かと思えます。できれば地域の人に理解していただけるようなPR及び周知が必要と思えます。つちや水源の事業に関しまして、真田地域のためだといいいながら、実は上田地域の神科地区で水が欲しいから実施するのではないかと、こちらはうまく利用されているのではないかと、そういう話題になりました。心配がないような説明、真田の人たちも結局水道料金に跳ね返ってきますので、不安をきちんと無くすようなことが必要と思えます。

(佐藤真田上下水道課長)ただいまお話がございましたように、自治会長さんへの説明を考えているところです。今後、渋沢・大日向地区に行き自治会員の皆さんに説明する予定です。管路の埋設につきましてはルートを検討中ですが、管路調査に入った時に、地元への理解をいただけるように説明しなければならないと考えているところです。内容等につきましては再度つめていきます。

(委員)取水量の消費予定水量の関係で、大日向と長中央、これは現在の消費量を賄うだけの予定数を見込んであるのですが、本原については現在4700人の1800tの内の1300tしか供給しないことになっている。そうするとその差分は旧施設のろ過膜が残るということでしょうか。

(佐藤真田上下水道課長)本原簡易水道1300tにつきましては、各地区の配水量の現状平均水量ということで記載してあります。なお黒字で書いてある4700人1800tにつきましては、当初、本原簡易水道の事業認可を受けるときに出た数字であります。現在、1300tが実際に給水している水量です。いま使っている施設の関係につきましては、今回の統合に伴い、すべて廃止とい

うことではなく、休止の状態にしておきたいということでもあります。もしなんらかの事があった時にはそれも活用していきたいと考えています。

(会長) いま上田地域は菅平ダムから水を引いて使用しているのでしょうか。

(佐藤真田上下水道課長) 菅平ダムからは給水しておりません。神川からの取水で対応しております。

(3) 前回決定事項確認

～事務局から説明～

・質問なし

(4) 分科会協議状況報告及び協議結果の取り扱いについて

～事務局から説明～

(会長) 事務局から説明がありましたが、皆さんからご意見等ありましたらおだしてください。

(副会長) 食事メニューの開発というのが大変だと思われます。いま真田庵でやっていますが、自治センターで要請、要望というのはあるのでしょうか。おはぎやそばすいとんをやっているがその他はやるのでしょうか。

(滝澤産業観光課長) 特段こちらの方では、こういうものを作ってくださいというお願いしていません。

(高橋センター長) 具体的に動きがあるとすれば、お昼の提供場所を温泉施設でどうか検討しております。お昼のお弁当メニューを新たに試作しております。温泉施設であれば、大型バス2台分ぐらいの収容人数が可能です。お昼のメニューということで、来月、具体的に試食会をやる予算までできております。

(委員) 協議結果の連携の部分ですが、真田地域でなにかやりたいとか、こうやっていこうとか、想いを抱いていらっしゃる方とか、例えば支援が得意な方とか、ここにもたくさんの能力をもった方がいらっしゃるということで、そういった連携の集まりを上田市の行政主導ではなくて、民間で動き出そうかと検討しております。厳しい集まりではなくてゆるやかな集まりから始めてみようかと考えています。できれば、1月か2月ぐらいにそういった会をもって、いろんな人の意見を集めて情報共有ができればと考えているところである。またご相談させていただきたいと思えます。

(委員) イベントや地域おこしの活動をやられている皆さんは、地域にたくさんいらっしゃいます。そういう方の横の連絡がとれるような場ができたらいいなということで、前回の第1分科会でも意見を申し上げます。そういった方から既に準備をされているというような話も聞きますので、そういったことも活かしていけたら良いのではないかと思います。

(会長) この件につきましては、協議会との関わりを進めていただく中で出てくる、或いは行政との関わりができたところで、話し合いが必要であればということによろしいですか。先ほど事務局から説明がありましたように、自治センターの各課に協力を依頼したり、或いは関係する団体への働きかけをしていきたいと思っております。非常に広い範囲にわたって意見が出ており、いい形でまとまっているように思います。これからの本題の地域づくりの中の一つのエッセンスにもなっていると思います。短時間の中でよくまとまりご意見をだしていただいたということで、一つの成果になるように思います。皆さんは各団体の代表でもありますので、ぜひみなさん自身の団体におきましても、このことを活かしていただけたらと思います。よろしく申し上げます。それでは、大河ドラマ放送決定に関わる分科会協議の部分を一区切りという形で閉めさせていただきます。

(5) わがまち魅力アップ応援事業評価結果及び選考

非公開

(6) 12月17日 第9回協議会の開催について

～事務局から説明～

(会長) 皆さんからご意見をいただきます。傍陽小学校からの説明の申し出があります。ご意見があればと思います。役員会で話が出たのですが、子供たちの発表の時間は短いらしく、それだと寂しいので、その他に子供たちと話し合いをしたらどうかという意見が出ました。みなさんどうで

しょうか。子供たちが来て一方的な発表だけではなく、せっかく3つの分科会がありますので、子供たちも分かれていただいて、話し合いをする場もあってもいいという意見もありました。進めるということによろしいですか。内容については役員と事務局とで詰めさせていただきます。それから時間帯ですが、通常より早い時間帯となりますが、それについてはどうでしょうか。

～意見なし～

【決定事項】

実施することで決定

5 その他

(1) 次回協議会開催日時

(副会長) 次回は11月19日(水)午後7時からでよろしいでしょうか。次回は都市計画課から都市計画マスタープランについて協議があります。これは冒頭に実施したいと思います。それから、7月の協議会で決定しました分科会協議テーマについて入っていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

～全員了承～

6 閉会